

発刊のご挨拶

日本貸金業協会

会長 有馬 高司



令和7年度の協会活動と貸金業界に関する関係資料や情報をとりまとめた「年次報告書」をお届けいたします。

昨年度の貸金業界は、物価高騰の長期化、デジタル化の急速な進展、金融犯罪の巧妙化、貸金業者数の減少傾向といった複数の構造的課題が同時進行する一年となりました。

こうした環境変化により、資金需要は多様化し、利便性の高い金融サービスが広がる一方で、SNSを悪用した違法なヤミ金融や、若年層を中心とした副業詐欺や投資詐欺被害といった新たなリスクも顕在化しています。

本協会では貸金業大手4社と協働して、利用者が安全かつ適切に金融サービスを利用できる環境を整えるため、「金融リテラシー向上コンソーシアム」を立ち上げ、多様な主体と連携した教育・啓発活動を推進しております。若年層からシニア層まで幅広い世代に向けて金融知識の普及を進め、「お金でつまずかない教育」の拡大を図っています。

貸金市場の健全な発展と利用者保護は、本協会に課せられた重要な使命です。今後も、変化する社会環境やリスクに真摯に向き合い、コンプライアンスの徹底と自主規制機能の高度化を図り、社会から一層信頼される業界の実現を目指してまいります。

みなさまにおかれましては、本報告書をご高覧いただき、本協会の活動や貸金業界に対するご理解を深めていただく機会としていただければ幸いです。

本協会は、まもなく設立20周年を迎えます。激しく移り変わる時代の中、今後も変わらぬご支援を賜りつつ、協会のさらなる発展を温かく見守っていただければ幸いです。